

2015年度の州政府による高等教育への予算割当額、全般的に微増（1月19日）

イリノイ州立大学（Illinois State University）の教育政策研究センター（Center for the Study of Education Policy）と州立高等教育機関役員協会（Association of State Higher Education Executive Officers）の共同プロジェクトであるグレープバイン（Grapevine）は1月19日、2015年度の州政府による高等教育への予算割当額に関する調査結果を発表した。これによると、全般的には高等教育への予算割当額は2014年度と比較して5%以上増加し、4年連続で予算割当額が前年度比で減少した後に、2年連続での増加となった。

全体では39州で前年を上回る予算額が高等教育に割り当てられているが、増加率はメイン州の0.1%からコロラド州の14.6%と幅が広く、全米平均の増加は、カリフォルニア州、フロリダ州、及びイリノイ州の3州で大幅な増額があったことによるところが大きく、これら3州を除くと、全体の増加率は3%弱となるという。なお、高等教育予算割当額が減額された10州のうち、減少率が高かったのはケンタッキー州とウエストバージニア州で、いずれも前年度比2%減となった。

The Chronicle of Higher Education, State Spending on Higher Education Inches Up, but Fiscal Pitfalls Remain

<http://chronicle.com/article/article-content/151251/>